



謹賀新年～今年もよろしくお願ひします～

年賀号



登立小HP
文責 校長

令和八年が明けました。皆様、今年もよろしくお願ひいたします。元旦は、御来光とともに晴れ渡る空が現れ、清々しい気持ちになりました。今年ものびっ子の健全育成に励み、皆様方のご期待に沿えるようにと決意を新たにしたところです。

その一、「馬子にも衣装」という言葉があるように、身だしなみや言葉遣いといった基本を改めて大切にしていきます。その二、「馬が合う」教職員集団として一丸となつてを目指すゴールを共有し、互いに意気投合しながら教育指導に取り組みます。

その三、「人間万事塞翁が馬」です。目の前の出来事に一喜一憂するのではなく、冷静に状況を見極め、長期的な視点で子供たちの成長を見守つていく姿勢を大切にします。その四、「生き馬の目を抜く」素早さで、タイミングを逃さず行動する判断力をもつて学校運営を進めます。そのための資質・能力の向上に努めていきます。

その五、「天高く馬肥ゆる秋」のごとく、実りある教育活動の実現に向けては、教職員一人一人の健康が何よりの土台です。多忙な日々の中でも、心身の健康保持に努めていきたいと考えます。その六、「下馬評」はいろいろあります。うわさやのためにも、「尻馬に乗る」ことなく、自ら考え、のびっ子たちにとつて何が最善かを軸に行動する姿勢を大切にしていきます。その七、「馬脚をあらわす」ことを恐れています。その八、「馬の耳に念佛」にならなく、課題解決を図り、改善につなげていける教職員集団であります。

本年「午年」を馬のように逞しく駆けまわりたいと思います。のびっ子、本校教職員への、皆様方のお力添えをどうぞよろしくお願ひいたします。

本年「午年」を馬のように逞しく駆けまわりたいと思います。のびっ子、本校教職員への、皆様方のお力添えをどうぞよろしくお願ひいたします。



玄関前を堂々と飾る門松
～6年生と平田先生の共同制作～

3学期を始業しました

令和8年（2026年）

うまどり
午年



ことし えと うま
今年の干支は「馬」

うま年は、やる気や力が高まり、太陽のようにエネルギーがみちあふれる年となります。

大きくのびるチャンスがあらわれる年です。

新しいことやあきらめかけていたことに挑戦しましょう。

- 【目標】 やる気をもって、そして、自分の力を信じて、目標にとどく一年にしよう。
- 【生活】 馬のように、力強く、はなやかで、命のエネルギーにあふれたすがたでチャレンジを繰り返そう。



3学期のお守りの言葉 にんげんばんじ さいおうがうま

悪く見えることでも、あとで良いことになるかもしれません。
良さそうなことでも、あとで、どうなるかはわかりません。
つらいことも、あとで楽しいにつながるかもしれません。
うれしいことも、あとで気をつけなければならないかもしれません。
「失敗する、けんかをする、うまくいかずがっかりする」
そんなとき、すぐに「もうだめだ」「最悪だ」と決めなくていいんですよ。
その出来事が、次のがんばりにつながることも、
大切なことに気づくきっかけになることもあります。
落ち着いて、前を向いて生きていくことが大切なんです。
つらいことがあったときは、心の中で、こう言ってみましょう。

「塞翁が馬(さいおうがうま)」

そう思える人は、くじけずに前に進める人です。

伸ばした力を確かめながら成長を感じ取る3学期がスタートしました。始業式では「やる気」「自己肯定」「目標達成」「挑戦」「レジリエンス」を目標設定の視点にとアドバイスしました。そして、「塞翁が馬」の諺の由来をもとに、思慮深さをもち、先を見通しながら生活する大切さを伝えました。つまづいた時に「何とかなる。大丈夫！」と考えられる心の伸びしろ。ラッキーな時に「喜ぶだけではいけない。もっと冷静に考えてみよう！」と考える冷静さをもったのびっ子であって欲しい。1、2学期より「一歩進んだ自分」を見つけて欲しいとの願いからです。式に臨む全員の姿勢、態度は本当に素晴らしい、目を細める思いになりました。そんなのびっ子たちとの最後の学期がスタートです。共に過ごす時間を有効に、そして大切に、これからも進んでいきたいと思いまます。



厳冬にも負けないのびっ子も